資料②

2013/6/18　第１回ワークショップ

複合公共施設ワークショップのＱ＆Ａ

・前回の勉強会での質問や、説明時のポイントをＱ＆Ａ形式でまとめました。

ＮＯ	Ｑ	Ａ
1	駐車場は十分にとれますか？	施設の利用者推計によって必要台数を検討していきます。 （仮に建物以外を駐車場としたら 300 台以上とれる広さがあります）
2	基本方針として決まっていることは？	大きくは、 ①5 施設を集約すること（陶芸室や多目的室などの貸館機能、談話スペースなど） ②旧向陽中学校跡地に建設すること、 ③多世代交流につながる新たな機能導入を検討すること の 3 点が決まっています。これら以外は、今後の検討となります。
3	地震・津波などの防災対策はどうするの？	建設地は、津波浸水予測区域であり、もともとの学校も避難所でした。何らかの避難所機能を持たせる方針ですが、詳細については、市全体の防災計画に基づき、地元の方々などと協議し、防災面の検討を進めていきます。
4	周辺の道路環境の変化は大丈夫？	施設規模や利用者推計など専門データをもとに、地元の方々と協議しながら検討を進めていきます。
5	屋外の休憩スペースなど、屋外を利用したアイデアも良いですか？	屋外を活用したアイデアも是非お願いします。
6	建物の大きさはどれくらいになるの？	概ねの上限を 4,000～5,000 ㎡としています。 市民会館で約 4,100 ㎡程度の大きさがあります。

今回のワークショップに参加できなかった方からのご意見

・今回のワークショップでは、参加者募集と合わせて参加出来ない方からのご意見も受け付けていました。
６名の方からご意見を頂きましたので、参考にお知らせします。

NO	性別	年齢	ご意見・アイデア内容
1	男	70 代	総合福祉センターの利用者ですが、舞台付きの広間で色々な行事や発表が出来るのか、音響設備や陶芸の家などを確保されるのかなどが気になっています。新しい施設では、若い方々と交流していける場もあると良いと思います。
2	女	60 代	現在、向陽中跡地にある樹木の伐採を最小限にとどめ活かしてほしいと思います。伐採を最小限にしつつ、近隣住民への日照権などもありますが、暑い夏には木陰も大切ですし、地球温暖化にも少しでもブレーキをかけることが出来ると思います。
3	男	80 代	室蘭市内では、色々な文化活動をしている団体がありますが、なかなか発表の場が不足していると感じています。今回の施設で実現してほしいことは、150～200 名程度収容小可能で、舞台や音響設備を備えた小ホールの設置です。
4	男	20 代	市内の公共施設は、なかなか認知度が低く、中島に住んでいるが、気軽に利用できるスポーツ施設や図書館がないため、ちょっと体を動かせる場や図書館機能を有した施設があると良いと思います。
5	女	30 代	絵本がたくさんあるスペースを作り、子どもに読み聞かせなどしてもらえると嬉しいです。 木のおもちゃは自分で買うと高価なので、このような施設にたくさんの木の遊具で遊べるスペースがあれば、魅力的だと思います。
6	女	40 代	休日や雨天に遊ぶところがないので、小さな子供でも楽しめる屋内の遊び場が欲しいです。 子供が遊んでいるところを、近くで見守れる場所があれば保護者も安心だと思います。 遊具については、手触りなどが良い木の素材の物があると嬉しいです。